

## 地域とともにある学校について

### 1 地域とともにある学校

#### (1) 「次世代の学校・地域」創生プラン

国は、学校と地域が一体となって地方創生に取り組めるよう、平成 28 年 1 月「次世代の学校・地域」創生プランを策定している。

その中で、地方創生の推進には、学校と地域が相互に関わり合い、学校を核として地域社会が活性化していくことが必要不可欠であるとの考えの下、学校・地域それぞれの視点に立ち、「次世代の学校・地域」両者一体となった体系的な取組を進めていくこととしている。

また、その際、学校に係る観点からは、「社会に開かれた教育課程」の実現、「地域とともにある学校」への転換という方向を、地域に係る観点からは、次代の郷土をつくる人材の育成、地域で家庭を支援し子育てできる環境づくりなどの方向を目指して取組を進めるとしている。

#### (2) 学校と地域の関わり

本市においては、従前より、学校と地域が深く関わり合いながら学校教育が行われている。

具体的には、地域から学校への関わりとして、例えば、ゲストティーチャーとして学習面から、スクールヘルパーやこども見守り隊として子供の安全面から、また、学校評議員として学校運営面から、様々な形で学校教育に関わっていただいている。

また、学校から地域への関わりとして、例えば、社会科において地域の産業について学習したり、総合的な学習の時間において郷土の歴史や史跡などについて学習したり、また、生活科や理科において地域の自然について学習したりしている。

### 2 教育的な視点と地域活性の視点

学校規模により生じる可能性がある課題を解消する観点から、また、新学習指導要領が目指す主体的・対話的で深い学びを実現する観点から考えると、適正化に当たっては、第一に「教育的な視点」から望ましい教育環境を提供するために取り組むことが重要である。

しかしながら、「地域とともにある学校」の観点や、例えば「がんばる地域応援事業」、「姫路市北部農山村地域活性化構想・基本計画」、「姫路市市民活動・協働推進事業計画」等の地域活性化施策と整合を図る観点から、具体的に取り組む段階においては、「地域活性の視点」を併せ持って、取り組むことも重要である。